

# 小学校低学年国語科における 話題に沿って話し合う能力の育成に関する研究

- 「書くこと」の指導内容との関連をとおして -

## 補助資料目次

補助資料 1	「あったらいいな，こんなもの」指導構想・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
補助資料 2	「あったらいいな，こんなもの」指導展開案（～）・・・・・・・・・・ 3
補助資料 3	振返りカード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
補助資料 4	学習プリント・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
補助資料 5	発表カード原本・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
補助資料 6	聞き取りメモカード（「しつもんおたすけカード」）・・・・・・・・・・ 20

平成 21 年 1 月 7 日  
岩手県立総合教育センター  
長期研修生（1 年）  
所属校 盛岡市立城南小学校  
瀬 川 由 佳

【補助資料1】 指導構想

1 指導内容について

指 導 事 項	言 語 活 動 例
オ 互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合うこと。	ア 事物の説明や経験を報告したり、それらを聞いて感想を述べたりすること。 イ 尋ねたり応答したり、グループで話し合っって考えを一つにまとめたりすること。

本教材「あったらいいな、こんなもの」は、自分の考えた「あったらいいもの」を分かりやすく発表するために、友だちとの対話をとおして、「あったらいいもの」の特徴を考えたり、発表の内容や順序を考えたりする活動を行う。この活動をとおして、尋ねたり応答したりする能力を高めていく。「あったらいいもの」について分かり合うためには、事物の特徴を説明したり、説明を求めたりすることが必要になる。設定した言語活動を行う際、単に「あったらいいもの」について思い付くままに尋ねたり応答したりするのではなく、児童自身が「説明」を意識して活動を行うことが大切である。

2 教材について

(1) 「話すこと・聞くこと」領域の教材の系統性

児童は、第1学年「わたしはなんででしょう」で、事物の特徴をクイズ形式で尋ねたり応答したりする学習を行っている。この教材では、事物を説明するには、「様子・働き（仕事）」を伝えることが大切であることを学習した。第2学年「ともさんはどこかな」では、人物の特徴を落とさずに聞き取る学習をしている。この教材では、人物の特徴を空間的順序（大体から詳細な部分）に気を付けながら聞き取る言語活動をとおして、説明の順序を学んでいる。「事物の説明」「説明の順序」の学習を経験している児童ではあるが、それぞれの指導時数が5時間程度であり、理解・習熟が十分ではない児童がいることが考えられる。そのため、各段階、各活動で習熟の程度を見取りながら指導に当たる必要がある。

(2) 「書くこと」領域の教材との関連性

事物を説明する文章を書く学習は、「鳥のくちばしの特徴を書く」「車の特徴を知らせるカードを書く」「動物の赤ちゃんを紹介する文章を書く」など、「読むこと」領域との関連を図った言語活動をとおして行っている。

この言語活動によって、事物の説明をするためには、事物の役割（働き）を伝え、そのためにどのような構造（仕組み）になっているのかを、事柄をいくつかに絞って伝えることが大切であることを学習している。さらに、「書くこと」領域の教材、第1学年「しらせたいな、見せたいな」、第2学年「かんさつ名人になろう」では、観察したことを書く活動をとおして、事物の様子を伝えるために必要な事柄について学習している。

本教材の学習では、これまで「書くこと」領域で学習した「事物の様子」「仕組み」「働き」を伝えるための知識を、自分の考えた道具を分かりやすく伝えたり、友達の話の聞き質問したりする観点に生かしていく。

また、考えや聞き取ったことをメモする活動や事物を説明する文章を書く活動を取り入れ、児童が考えをまとめたり、主述の整った文で話したりすることに生かしていく。

(3) 「書くこと」領域の指導内容との関連を図った学習活動

関連を図った 学習活動の場	関 連 を 図 っ た 学 習 活 動
話題や具体的な活動方法について確認する場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「観察したことを記録する文を書く」活動をとおして学習した事物の様子を伝える観点を，事物の様子を考えたり，文章に書いたり，話し合ったりするための観点到に生かすことを確認する</li> <li>・想起した「書くこと」領域の既習の学習内容を生かした話し方，尋ね方，書き方について確認する</li> </ul>
児童にとって興味のある話合いの場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」領域の学習内容「事物の様子」の事柄を，事物の説明に生かして話合い活動をする</li> <li>・「書くこと」領域でも学習した「説明の順序」を，話す事柄を整理したり聞きたい事柄を明確にしたりすることに生かしながら活動する</li> <li>・「書くこと」領域で学んだ事物の様子を書いたり，事物を説明する文を書いたりする活動を取り入れ，語と語のつながり，主述の関係に気を付けて話すことに生かす</li> <li>・話し合ったことを書き足す活動を取り入れ，話題や話合いの内容を捉えながら活動する</li> </ul>
話合いを振り返る場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」領域で学習した事物の様子や説明の順序を生かしながら活動できたか，話合いの内容を振り返る</li> </ul>

3 学習指導目標及び評価規準

	学 習 指 導 目 標	評 価 規 準
国語への 関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の考えを詳しく知るために質問したり，相手に分かりやすく説明したり応答したりしようとしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の考えたことを聞く方法を工夫したり，分かりやすく話すために事柄を選び，順序を考えて話そうとしたりしている</li> </ul>
「話すこと・聞くこと」の 能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し手の考えたものをよりよく知るために質問したり，聞き手によく分かるように説明したりしながら話し合うことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えたものを分かり合うために，事物の特徴を互いに尋ねたり説明したりしながら，話し合っている</li> </ul>
言語についての 知識・理解・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の話に傾いて聞いたり，はっきりした発音や聞き取りやすい速さで話したりすることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の話に傾いて聞いたり，はっきりした発音や聞き取りやすい速さで話したりしている</li> </ul>

【補助資料2-①】

単元 「話し方をくふうして はっぴょうしよう」

教材 「あったらいいな、こんなもの」(1/13時間 見通す段階1/2)

(1) 目標

単元のねらいを知り、相手意識・目的意識、学習の見通しをもつことができる

(2) 展開

	学習活動 ・学習内容	指導上の留意点 【「書くこと」領域との関連を図った学習の場】
導入 8分	1 教材に出会う (1) 教科書教材を読む (2) 新出漢字を学習する 2 本時の学習課題を把握する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             「あったらいいな、こんなもの」の学しゅうの見とおしをたてよう           </div>	
展開 32分	3 秘密道具について共通確認をする (1) ドラえものの「秘密道具」をクイズ形式で単元の学習計画を立てる (2) 「秘密道具」の条件を共通理解する 4 単元の学習計画を立てる (1) 教科書教材文を読む (2) 言語意識を確認する <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級の友達に(相手意識)</li> <li>・自分の考えた「秘密道具」を伝えるために(目的意識)</li> <li>・学級発表会をする(場面・状況意識)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あったらいいと思うものを「秘密道具」と今後の学習で呼ぶことを確認する。</li> <li>・「秘密道具」の条件は、「ドラえもののポケットにない」「この世にない」「自分もみんなもともあると助かるもの」とする</li> <li>・「～できる道具です」「～すると、～できる」と、今後、児童が「秘密道具」を紹介したり、説明する文を書いたりするとき、参考になる表現を使う</li> <li>・教科書教材文を読みながら、学習の内容を取り出し、学習する順番を確認する</li> <li>・学級発表会に向けて、「秘密道具」をよくするために、友達と相談したり確かめたりしながら進めていくことを確認する(方法意識)</li> <li>・「分かりやすく話すために、秘密道具について話すことはなにか」「秘密道具を詳しく分かるために秘密道具について聞くことを考える」学習であることを確認する(評価意識)</li> </ul>
終末 5分	5 本時の学習を振り返る <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の見通しを確認する</li> <li>・言語意識を確認する</li> </ul> 6 次時の学習の見通しをもつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次時は、「秘密道具」を考えたり、隣の人と相談したりすることを確認する。</li> </ul>

(3) 評価

単元のねらいを知り、相手意識・目的意識、学習の見通しをもつことができたか

【補助資料2-②】

単元 「話し方をくふうして はっぴょうしよう」

教材 「あったらいいな、こんなもの」(2/13時間 見通す段階2/2)

話題や具体的な活動方法を確認する場

興味のある話合いの場

話合いを振り返る場

(1) 目標

「秘密道具」の様子やしたいこと、できることなどをカードに書いたり、紹介し合ったりすることができる

(2) 展開

	学習活動 ・学習内容	指導上の留意点 【「書くこと」領域との関連を図った学習の場】
導入 8分	1 本時の学習課題を把握する (1) 前時の学習を想起し、本時の学習課題を把握する ・言語意識を確認する ・学習の流れについて確認する 「ひみつどうぐ」を考えて、絵カードをかこう	・新出漢字の練習をする
展開 32分	2 「秘密道具」をかく (1) 1年「しらせたいな見せたいな」、「わたしはなんでしょう」を想起する (2) モデルを見て、書き方を理解する (3) 絵カードをかく 3 「秘密道具」について紹介し合う (1) 「秘密道具」について紹介し合う事柄を確認する (2) 「秘密道具」について紹介し合う (3) 紹介し合った事柄を基に絵カードを修正する	・想起した観察の観点を事物の様子を考えたり、話し合ったりする活動に生かすことができるように掲示物、昨年の教材や教科書を用意する <b>【話題や具体的な活動方法を確認する場】</b> ・「様子」とは、「観察記録文」で学習した「観察の観点」であること、「秘密道具」の様子を考える観点到生かすことができることを確認する ・「秘密道具」でしたいこと、できることも書き出させる <b>【興味のある話合いの場】</b> ・書いたものを示しながら、秘密道具について紹介し合い、紹介しながら考えたり思いついたりしたことをカードに書き加えたり、修正したりする ・紹介し合う時間は3分程度とし、次時の話合いの意欲へとつなげる
終末 5分	4 本時の学習を振り返る ・「書くこと」で学んだことは事物の様子観点であること 5 次時の学習の見通しをもつ	<b>【話合いを振り返る場】</b> ・学習内容を活動に生かすことができたか、自己評価をする ・次時も「秘密道具」をよりよくするために、自己反省を生かしながら話し合うことを確認する

(3) 評価

「秘密道具」の様子やしたいこと、できることなどをカードに書いたり、紹介し合ったりすることができたか

【補助資料2-③】

単元 「話し方をくふうして はっぴょうしよう」

教材 「あったらいいな、こんなもの」(3/13時間 深める段階1/8)

話題や具体的な活動方法を確認する場

興味のある話合いの場

話合いを振り返る場

(1) 目標

「秘密道具」の様子や働きなどを、説明したり質問・応答したりすることができる

(2) 展開

	学習活動 ・学習内容	指導上の留意点 【「書くこと」領域との関連を図った学習の場】
導入 7分	1 本時の学習課題を把握する (1) 教科書教材を読む (2) 前時の学習を想起し、本時の学習課題を把握する 「ひみつどうぐ」をくわしく考えて、ようすやできることをカードにかきたそう	・新出漢字の練習をする ・「書くこと」で学んだ「観察の観点」が様子を伝える観点到に生かすことができることを確認する
展開 32分	2 複合語について理解する (1) 複合語について学習する (2) 複合語を作ったり、複合語を使った文を考えたりしながら、理解を深める。 3 話し合いながら「秘密道具」について考えを深め、カードに書き加える (1) 2年「かんさつ名人になろう」を想起する (2) 「秘密道具」について、説明したり質問・応答したりする (3) 話し合いを振り返り、学び合う (4) 「秘密道具」について、説明したり質問・応答したりする	・「れる」「られる」の使い分けについて、活動を通して理解させる 【話題や具体的な活動方法を確認する場】 ・2年「かんさつ名人になろう」(書くこと)で学習した「観察の観点」も前時の学習同様、様子を伝えたり質問したりする活動に生かすことを確認する。 【興味のある話合いの場】 ・書いたものを示したり、カードに書き加えたりしながら話し合いをさせ、話題を意識させる ・観察記録文で学んだ「観察の観点」を事物の様子を質問することに生かしながらか話し合わせる
終末 5分	4 本時の学習を振り返る ・事物を説明する事柄の一つに、事物の様子を伝えることがある ・事物の様子を伝えるときに、「書くこと」で学んだ観察の観点到を生かすことができる 5 次時の学習の見通しをもつ	【話し合いを振り返る場】 ・事物の様子、仕組み、働きなどを質問することができたか、など聞き手としての活動を中心に話し合いを自己評価する ・次時は、絵カードを完成させることを確かめる

(3) 評価

「秘密道具」の様子や仕組み、働きなどをカードに書き、説明したり質問・応答したりすることができたか

【補助資料2-④】

単元 「話し方をくふうして はっぴょうしよう」

教材 「あったらいいな、こんなもの」(4/13時間 深める段階2/8)

- 話題や具体的な活動方法を確認する場
- 興味のある話合いの場
- 話合いを振り返る場

(1) 目標

「秘密道具」の様子や仕組み、働きが分かる質問をしたり、質問に応じて答えたりすることができる

(2) 展開

	学習活動 ・学習内容	指導上の留意点 【「書くこと」領域との関連を図った学習の場】
導入 8分	1 本時の学習課題を把握する (1)前時の学習を想起し、本時の学習課題を把握する 話合いをしながら「ひみつどうぐ」のようすやはたらきやしくみを考えよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新出漢字の練習をする</li> <li>【話合いを振り返る場】</li> <li>・前時の話合いで考えが深まったり広がったりしたことを想起させ、話合いの良さを理解させる</li> <li>・話合いの活動の良かった点、問題点を意識させる。</li> </ul>
展開 32分	2 班の話合いの様子をVTRで理解する (1) VTRを見る (2) 質問の内容や方法を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色などの形状を確かめる</li> <li>・動き、手触りなど絵では分からないことを尋ねる</li> <li>・意見や感想を入れながら話し合う</li> </ul> 3 「秘密道具」について、尋ねたり応答したりする (1) 質問する事柄について確認をする (2) 「秘密道具」について、説明したり、質問・応答したりする (3) 話合いを振り返り、学び合う (4) 「秘密道具」について、説明したり、質問・応答したりする	<ul style="list-style-type: none"> <li>【話題や具体的な活動方法を確認する場】</li> <li>・ペアや班での話合いの進め方を確認するとともに、事物を説明したり尋ねたりするときの観点について、「書く」こと領域と関連付けながら確認する</li> <li>【興味のある話合いの場】</li> <li>・書いたものを示したり、カードに書き加えたりしながら話合いをさせ、話題を意識させる</li> <li>・観察記録文で学んだ「観察の観点」を事物の様子を質問することに生かしながら話し合わせる</li> <li>【話合いを振り返る場】</li> <li>・活動を振り返り、質問することを「観察の観点」(書くこと)と関連付けながら確認する</li> </ul>
終末 5分	4 本時の学習を振り返る <ul style="list-style-type: none"> <li>・事物を説明する事柄の一つに、事物の様子がある</li> <li>・事物の様子を伝えたり質問したりする事柄に、「書くこと」で学んだ観察の観点を生かすことができる</li> </ul> 5 次時の学習の見通しをもつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次時は、「秘密道具」について考えた中から、話す事柄を選ぶことを確かめる</li> </ul>

(3) 評価

「秘密道具」の様子や仕組み、働きが分かる質問をしたり、質問に応じて答えたりすることができたか

【補助資料2-⑤】

単元 「話し方をくふうして はっぴょうしよう」

話題や具体的な方法を確認する場

教材 「あったらいいな、こんなもの」(5/13時間 深める段階3/8)

(1) 目標

「秘密道具」について紹介するために必要な事柄を理解し、話す事柄を選ぶことができる

(2) 展開

	学習活動 ・学習内容	指導上の留意点 【「書くこと」領域との関連を図った学習の場】
導入 8分	1 前時の学習を想起し、本時の学習課題を把握する ・「れる」「られる」の使い方 ・質問の内容、話す内容を考えるとき、「観察の観点」を生かすことができること はっぴょうカードを書くために、つたえたいことをえらぼう	・新出漢字の練習をする  ・本時は、「伝えたいことを選ぶ」段階までの学習であることを確認する
展開 32分	2 「書くこと」「話すこと・聞くこと」の学習課程の類似を知る (1) 作文を書くときの学習の流れを想起する (2) 本時の学習が、「伝える事柄を決める」学習であることを確認する (3) 本単元の伝える事柄を確認する 3 説明に必要な事柄を理解し、話す事柄を選ぶ (1) 説明に必要な事柄を理解する ・名前、様子、働き、仕組み (2) 話す事柄を選ぶ	【話題や具体的な方法を確認する場】 ・「話すこと・聞くこと」の学習も「書くこと」の学習過程同様、「話題を決め」「伝えるために必要な事柄を集め」「伝える事柄を決め」「順序に気をつけて伝える」学習であることを確かめる ・「描写」「説明」という学習用語の意味を理解させる ・「描写」「説明」をしたり、質問によって求めたりすることを話し合いの中で行っていくことを指導する ・「観察記録文」を書く学習で学んだ「観察の観点」と関連付けながら、「描写」に必要な事柄についてまとめる
終末 5分	4 本時の学習を振り返る ・事物の説明は、事物の様子や仕組み、働きを伝えること ・話したいことや質問に沿って答えるとき、「様子・仕組み・働き」の中から選んだり組み合わせたりすること 5 次時の学習の見通しをもつ	・次時は、「説明」や「描写」の文を使って、発表カードを書く学習であることを確認する

(3) 評価

「秘密道具」について紹介するために必要な事柄を理解し、話す事柄を選ぶことができたか

【補助資料2-⑥】

単元 「話し方をくふうして はっぴょうしよう」

話題や具体的な方法を確認する場

教材 「あったらいいな, こんなもの」(6/13時間 深める段階4/8)

興味のある話合いの場

(1) 目標

「秘密道具」を紹介するために選んだ事柄について, 順序に気を付けて発表カードを書くことができる

(2) 展開

	学習活動 ・学習内容	指導上の留意点 【「書くこと」領域との関連を図った学習の場】
導入 8分	1 本時の学習課題を把握する (1) 前時の学習を想起し, 本時の学習課題を把握する ・伝える事柄を選んだこと ・「説明」「描写」という用語 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">じゅんじょを考えながら, はっぴょうカードを書こう</div>	・新出漢字の練習をする。 ・本時は, 「説明」や「描写」の文を使って, 発表カードを書く学習であることを確認する
展開 32分	2 発表カードを書く (1) 発表カードの書き方を知る (2) 発表カードを書く (3) 一文の意味が明確になるように, 語と語のつながりに気を付けて読み直す  3 発表カードを紹介し合う (1) 発表カードを読み合う (2) 内容や順序について意見を交換したり, 発表カードを書き直したりする	【話題や具体的な方法を確認する場】 ・「事物の形状, 様子, 動きなどを簡単に文章に書く」学習を想起させたり, モデルを提示したりして, 書く内容や書き方, 順序について具体的に理解させる ・形と色を一文にまとめるなど内容をまとめたり, 書き終わった後, 伝えたい事柄の順序に並べたりするなど, 構成を意識させる ・空間の順序など, 順序について指導する  【興味のある話合いの場】 ・発表カードを互いに見せ合って, 話合いの内容をとらえやすくする
終末 5分	4 本時の学習を振り返る ・「説明」する文, 「描写」の文を使って, 発表カードを書いたこと ・似た事柄はまとめること 5 次時の学習の見通しをもつ	【話題や具体的な方法を確認する場】 ・観察記録文の書き方を使い, 発表するための原稿を書くことができることを確認する ・次時からは, 班の発表会の流れを確認したり, 内容や順序を確かめたりしながらペアで発表練習をすることを確認する

(3) 評価

「秘密道具」を紹介するために選んだ事柄について, 順序に気を付けて発表カードを書くことができたか

【補助資料2-⑦】

単元 「話し方をくふうして はっぴょうしよう」

教材 「あったらいいな、こんなもの」(7/13時間 深める段階5/8)

話題や具体的な方法を確認する場

興味のある話合いの場

話合いを振り返る場

(1) 目標

発表の内容や順序について意見を交換することができる

(2) 展開

	学習活動 ・学習内容	指導上の留意点 【「書くこと」領域との関連を図った学習の場】
導入 8分	<p>1 本時の学習課題を把握する</p> <p>(1) 前時までの学習を想起し、本時の学習課題を把握する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話す事柄を選び、発表カードを書いたこと</li> </ul> <p>「はんのはっぴょう会」にむけて、ペアでないようやじゅんじよをたしかめながら、はっぴょうのれんしゅうをしよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの学習を確認しながら、教科書を読む</li> <li>・話合いによって内容や順序を改善し、よりよい発表にしていくことを確認する</li> </ul> <p>【話題や具体的な方法を確認する場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書く活動と比較させ、本時は推敲にあたる段階であることを理解させる</li> </ul>
展開 32分	<p>2 順序などの構成についての理解を深める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間的な順序(例:作業の順番)</li> <li>・空間的な順序(例:大きい部分から小さい部分)</li> <li>・一般から特殊(例:普通から珍しい・特別)</li> <li>・様子など同じ事柄は続けて紹介する(グループ化)</li> </ul> <p>3 発表の内容を確かめる</p> <p>(1) VTRで話合いの活動を具体的に理解する</p> <p>(2) ペアで「様子」「仕組み」「働き」が書いてあるか話合い、確認する</p> <p>(3) 話し合ったことを基に発表カードを修正する</p> <p>&lt;話合いの流れ&gt; ペアのどちらかの発表カードについて話し合う→話合いを振り返る場→もう一方の発表カードについて話し合う</p>	<p>【話題や具体的な方法を確認する場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事物の様子を描写するとき、全体から詳細にという順序があることを「かさつ名人になろう」を想起し、理解させる</li> <li>・様子をいくつか組み合わせて伝えることを「しらせたいな、見せたいな」を想起し、理解させる</li> </ul> <p>【興味のある話合いの場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(2)(3)の活動は並行して行う</li> <li>・カードを見たり書き足したりしながら話合い、話題や話合いの内容をとらえやすくする</li> </ul> <p>【話合いを振り返る場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容のまとめ方や順序について話し合っているペアを紹介する</li> <li>・様子を記録する書き方、紹介する順序を「書くこと」の学習内容を想起させ、確認する</li> </ul>
終末 5分	<p>4 本時の学習を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・順序について</li> <li>・内容のまとめ方や順序について、書くことと似ていること</li> </ul> <p>5 次時の学習の見通しをもつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書くことと似ているが、発表の場合、相手の理解に応じて言葉を変えたり伝える順番を変えたりできることを理解させる</li> <li>・次時は、「秘密道具」について考えた中から、話すことを選ぶことを確かめる</li> </ul>

(3) 評価

発表の内容や順序について意見を交換することができたか

【補助資料2-⑧】

単元 「話し方をくふうして はっぴょうしよう」

教材 「あったらいいな, こんなもの」(8/13時間 深める段階6/8 この授業は, 30分授業。残り15分は広げる段階で使用)

(1) 目 標

班の話合いの方法が理解できる

(2) 展 開

	学習活動 ・学習内容	指 導 上 の 留 意 点 【「書くこと」領域との関連を図った学習の場】
導 入  3 分	1 本時の学習課題を把握する (1) 前時の学習を想起し, 本時の学習課題を把握する ・発表カードを直したこと ・順序にはいろいろあること ・内容のまとめ方や順序について, 書くことと似ていること はんのはっぴょう会のしかたをたしかめよう	
展 開  25 分	2 質問の仕方を理解する (3) VTRを見て流れを確認する (2) 発表の順番を確認する  3 質問の内容や方法を確かめる (1) VTRを見て, 質問の仕方を理解する (2) 質問の内容を確かめる  4 ペアで練習する	・VTRの後, 実際に動いてみて, 発表の流れを理解させる  ・質問の内容や方法についてVTRを基に確認する  ・速さや明瞭さなどについてペアで発表練習し, 意見を交換させる
終 末 2 分	5 本時の学習を振り返る ・班の発表会の仕方を確認したこと ・質問の内容と方法 6 次時の学習の見通しをもつ	・質問の内容や方法について確認し活動を通して理解を深めていくので, ここではいくつか確認するのみとする  ・次時は, 班の発表会を行うことを確認する

(3) 評 価

班の話合いの方法が理解できたか

【補助資料2-⑨】

単元 「話し方をくふうして はっぴょうしよう」

教材 「あったらいいな, こんなもの」(9/13時間 深める段階7/8)

話題や具体的な方法を確認する場

興味のある話合いの場

話合いを振り返る場

(1) 目標

- ・相手の話の内容に沿って, 事物の様子, 仕組み, 働きを尋ねることができる
- ・質問に沿って必要な事柄を選んで, 答えたり説明したりすることができる

(2) 展開

	学習活動 ・学習内容	指導上の留意点 【「書くこと」領域との関連を図った学習の場】
導入  8分	1 (1) 前時までの学習を想起し, 本時の学習課題を把握する  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">                         「ひみつどうぐ」のよさがわかるしつもんやこたえかたをしながら, はんのはっぴょう会をすすめよう                     </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・VTRを見て, 班の発表の流れを確認する</li> <li><b>【話題や具体的な方法を確認する場】</b></li> <li>・質問の内容や方法を確認する</li> <li>・ペア二組で一つの班を構成する</li> <li>・便宜上, Aペア, Bペアとする</li> </ul>
展開  32分	2 班の発表会をする (1) 発表会の流れ, 質問の内容や方法を確認する (2) Aペアの発表を行う・Bペアは質問する (3) 話合いを振り返り, 良い点を学び合う (4) Bペアの発表を行う・Aペアは質問する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人の発表は, 質問・応答を含み5分程度とする。そのため, Aペア, Bペアの活動は各々10分程度とする</li> <li><b>【話題や具体的な方法を確認する場】</b></li> <li>・事物の様子を表す事柄, 質問の仕方を確認する</li> <li><b>【興味のある話合いの場】</b></li> <li>・作成した絵カードや発表カードを用い, 話題や話合いの内容をとらえやすくする</li> <li><b>【話合いを振り返る場】</b></li> <li>・いくつかの班の活動を紹介しながら, 様子と仕組み・働きを関連付けて質問の仕方, 質問に対して説明を付け加えて応答する方法を確認する</li> </ul>
終末 5分	3 本時の学習を振り返る  4 次時の学習の見通しをもつ	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>【話合いを振り返る場】</b></li> <li>・2(4)の活動を質問の内容を中心に振り返る</li> <li>・次時は班の構成を変えて, 同じように班の発表会をすることを確認する</li> </ul>

(3) 評価

- ・相手の話の内容に沿って, 事物の様子, 仕組み, 働きを尋ねることができたか
- ・質問に沿って必要な事柄を選んで, 答えたり説明したりすることができたか

【補助資料2-⑩】

単元 「話し方をくふうして はっぴょうしよう」

教材 「あったらいいな、こんなもの」(10/13時間 深める段階8/8)

話題や具体的な方法を確認する場

興味のある話合いの場

話合いを振り返る場

(1) 目標

- ・相手の話の内容に沿って、事物の様子、仕組み、働きを尋ねることができる
- ・質問に沿って必要な事柄を選んで、答えたり説明したりすることができる

(2) 展開

	学習活動 ・学習内容	指導上の留意点 【「書くこと」領域との関連を図った学習の場】
導入 8分	1 前時までの学習を想起し、本時の学習課題を把握する  「ひみつどうぐ」のよさがわかるしつもんやこたえかたをしながら、はんのはっぴょう会をすすめよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班の発表の流れを確認する</li> <li>・ペア二組で一つの班を構成する</li> <li>・便宜上、Aペア、Bペアとする</li> </ul>
展開 32分	2 班の発表会をする (1) 発表会の流れ、質問の内容や方法を確認する (2) Aペアの発表を行う・Bペアは質問する (3) 話合いを振り返り、良い点を学び合う (4) Bペアの発表を行う・Aペアは質問する	<p><b>【話題や具体的な方法を確認する場】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事物の様子と仕組みを関連付けた質問の仕方を確認する</li> <li>・質問に対する応答に説明を付け加える方法について、モデルを提示しながら具体的に理解させる</li> </ul> <p><b>【興味のある話合いの場】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成した絵カードや発表カードを用い、話題や話合いの内容をとらえやすくする</li> </ul> <p><b>【話合いを振り返る場】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いくつかの班の活動を紹介しながら、様子と仕組み・働きを関連付けて質問の仕方、質問に対して説明を付け加えて応答する方法を確認する</li> </ul>
終末 5分	3 本時の学習を振り返る  4 次時の学習の見通しをもつ	<p><b>【話合いを振り返る場】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2(4)の活動を質問の内容を中心に振り返る</li> <li>・質問や応答の内容や方法をこれまでの学習を振り返りながら確かめる</li> <li>・次時は班の構成を変えて、同じように班の発表会をすることを確認する</li> </ul>

(3) 評価

- ・相手の話の内容に沿って、事物の様子、仕組み、働きを尋ねることができたか
- ・質問に沿って必要な事柄を選んで、答えたり説明したりすることができたか

【補助資料2-①】

単元 「話し方をくふうして はっぴょうしよう」

教材 「あったらいいな、こんなもの」(11/13時間 広げる段階1/3 50分授業)

話題や具体的な方法を確認する場

興味のある話合いの場

話合いを振り返る場

(1) 目標

- ・「秘密道具」のよさを知るために、相手の話の内容に沿って、様子、仕組み、働きを尋ねることができる
- ・自分の考えた「秘密道具」のよさを伝えるために、質問に沿って必要な事柄を選んで答えたり、説明したりすることができる

(2) 展開

	学習活動 ・学習内容	指導上の留意点 【「書くこと」領域との関連を図った学習の場】
導入 7分	1 単元の学習を振り返り、本時の学習課題を把握する 「ひみつどうぐ」をくわしくしるしつもんをしたり、よく分かるように答えたりして、がっきゅうはっぴょう会をしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスの三分の一の人数の発表を行うため、広げる段階では、本時を入れて同様の授業を三度行う</li> <li>【話題や具体的な方法を確認する場】</li> <li>・発表の内容については、様子、事物の仕組み・働きに気を付けて聞くことを確かめる</li> <li>・今までの学習を振り返り、よい質問の内容や方法を確認する</li> </ul>
展開 40分	2 「秘密道具」について学級発表会をする (1) 発表会をする <発表会の流れ> 発表する(1分)→質問・応答→質問や応答の仕方を振り返る ※一人の活動は約3分程度とする	<ul style="list-style-type: none"> <li>【興味のある話合いの場】</li> <li>・作成した絵カードや発表カードを用い、話題や話合いの内容をとらえやすくする</li> <li>・「質問お助けカード」を用意し、聞き取った事柄を明確にとらえながら質問する内容を考えさせる</li> <li>・「質問お助けカード」に書き込むことが、聞き手の活動の目的ではないことを確認する</li> <li>【話合いを振り返る場】</li> <li>・一人の活動が終わるごとに活動を振り返り、質問や応答の内容や方法の良い点を確認する</li> </ul>
終末 3分	3 本時の学習を振り返る 4 次時の学習の見通しをもつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>【話合いを振り返る場】</li> <li>・質問の内容や方法、応答の内容や方法について、児童の活動を紹介しながら確認する</li> <li>・次時も学級発表会を行うことを確認する</li> </ul>

(3) 評価

- ・「秘密道具」のよさを知るために、相手の話の内容に沿って、様子、仕組み、働きを尋ねることができたか
- ・自分の考えた「秘密道具」のよさを伝えるために、質問に沿って必要な事柄を選んで答えたり、説明したりすることができたか

【補助資料2-⑫】

単元 「話し方をくふうして はっぴょうしよう」

教材 「あったらいいな、こんなもの」(12/13時間 広げる段階2/3 50分授業)

話題や具体的な方法を確認する場

興味のある話合いの場

話合いを振り返る場

(1) 目標

- ・「秘密道具」のよさを知るために、相手の話の内容に沿って、様子、仕組み、働きを尋ねることができる
- ・自分の考えた「秘密道具」のよさを伝えるために、質問に沿って必要な事柄を選んで答えたり、説明したりすることができる

(2) 展開

	学習活動 ・学習内容	指導上の留意点 【「書くこと」領域との関連を図った学習の場】
導入 5分	1 単元の学習を振り返り、本時の学習課題を把握する  「ひみつどうぐ」をくわしくしるしつもんをしたり、よく分かるように答えたりして、がっきゅうはっぴょう会をしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時と同じ活動を行う。クラスの三分の一の人数の発表を行うため、広げる段階では、本時を入れて同様の授業を三度行う</li> <li>【話題や具体的な方法を確認する場】</li> <li>・発表の内容については、様子、事物の仕組み・働きに気を付けて聞くことを確かめる</li> <li>・今までの学習を振り返り、よい質問の内容や方法を確認する</li> </ul>
展開 43分	2 「秘密道具」について学級発表会をする (1) 発表会をする  ＜発表会の流れ＞ 発表する（1分）→質問・応答→質問や応答の仕方を振り返る ※一人の活動は約3分程度とする	<ul style="list-style-type: none"> <li>【興味のある話合いの場】</li> <li>・作成した絵カードや発表カードを用い、話題や話合いの内容をとらえやすくする</li> <li>・「質問お助けカード」を用意し、聞き取った事柄を明確にとらえながら質問する内容を考えさせる</li> <li>・「質問お助けカード」は児童の実態に応じて使用する</li> <li>【話合いを振り返る場】</li> <li>・一人の活動が終わるごとに活動を振り返り、質問や応答の内容や方法の良い点を確認する</li> </ul>
終末 2分	3 本時の学習を振り返る  4 次時の学習の見通しをもつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>【話合いを振り返る場】</li> <li>・質問の内容や方法、応答の内容や方法について、児童の活動を紹介しながら確認する</li> <li>・次時も学級発表会を行うことを確認する</li> </ul>

(3) 評価

- ・「秘密道具」のよさを知るために、相手の話の内容に沿って、様子、仕組み、働きを尋ねることができたか
- ・自分の考えた「秘密道具」のよさを伝えるために、質問に沿って必要な事柄を選んで答えたり、説明したりすることができたか

【補助資料2-⑬】

単元 「話し方をくふうして はっぴょうしよう」

教材 「あったらいいな、こんなもの」(13/13時間 広げる段階3/3 50分授業)

話題や具体的な方法を確認する場

興味のある話合いの場

話合いを振り返る場

(1) 目標

- ・「秘密道具」のよさを知るために、相手の話の内容に沿って、様子、仕組み、働きを尋ねることができる
- ・自分の考えた「秘密道具」のよさを伝えるために、質問に沿って必要な事柄を選んで答えたり、説明したりすることができる

(2) 展開

	学習活動 ・学習内容	指導上の留意点 【「書くこと」領域との関連を図った学習の場】
導入 3分	1 単元の学習を振り返り、本時の学習課題を把握する  「ひみつどうぐ」をくわしくしるしつもんをしたり、よく分かるように答えたりして、がっきゅうはっぴょう会をしよう	・前時と同じ活動。クラスの三分の一の人数の発表を行うため、広げる段階では、本時を入れて同様の授業を三度行う <b>【話題や具体的な方法を確認する場】</b> ・発表の内容については、様子、事物の仕組み・働きに気を付けて聞くことを確かめる ・今までの学習を振り返り、よい質問の内容や方法を確認する
展開 40分	2 「秘密道具」について学級発表会をする (1)発表会をする  ＜発表会の流れ＞ 発表する（1分）→質問・応答→質問や応答の仕方を振り返る 一人の活動は約3分程度とする	<b>【興味のある話合いの場】</b> ・作成した絵カードや発表カードを用い、話題や話合いの内容をとらえやすくする ・全員に質問お助けカードを用意するが、これまでの活動で十分に学習内容を習得していない児童と見取った児童を中心にカードを使い、指導する <b>【話合いを振り返る場】</b> ・一人の活動が終わるごとに活動を振り返り、質問や応答の内容や方法の良い点を確認する
終末 7分	3 本時の学習を振り返る  4 単元の学習を振り返る	<b>【話合いを振り返る場】</b> ・質問の内容や方法、応答の内容や方法について、児童の活動を紹介しながら確認する ・自分ができるようになった質問や応答の内容や方法を確認する

(3) 評価

- ・「秘密道具」のよさを知るために、相手の話の内容に沿って、様子、仕組み、働きを尋ねることができたか
- ・自分の考えた「秘密道具」のよさを伝えるために、質問に沿って必要な事柄を選んで答えたり、説明したりすることができたか

【補助資料3】

テレビアニメキャラクターの  
絵を使用

色  
形  
大きさ  
うごき  
しごとをくわしく  
つかいかた  
したいこと

そのほかに、した  
しつもんがあれば、  
書きましょう。

友だちのはっぴょうにしつもんすることができましたか。	(よしす、できること、じごくとうじる)	友だちにわかりやすく、三つのことを話すことができましたか。	ひみつどづぐの名前を考えることができましたか。

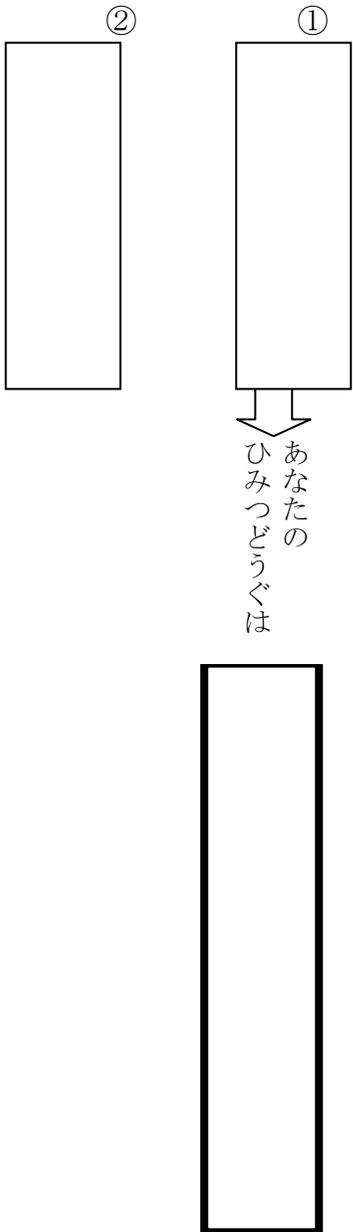
名前)

「あつたらいいな、こんなもの」ふりかえりカード

【補助資料4-①】

色 自分がおぼえたようすをあらわすこと がら	そのほかのようすをあらわすこと がら

**だいじ!**  
 どんなことを話したり聞いたりすればようすをおしえられたかな、  
**かんさつ**のときに気を付けたことを思い出して書いてみよう。



▽どんなことを話したいかな。どんなことをききたいかな。

話すことを

はっぴようカードを

あつたらいいな、こんなもの 学習プリント

名前 ( )

【補助資料4-②】

カードをかくことができましたか。	
はなすことがらをえらべましたか。	
いっしょうけんめい がんばりましたか。	

△がくしゅうをふりかえって▽

3	2	1

④ ひみつどうぐで、  
できることやしたいこと

だいじ!  
 ③ どんなつくりになっているか、どんなしごとをしているのかをつたえることを  
 「せつめい」といいます。

3	2	1

③ ひみつどうぐの、  
つかいかたや気をつけること

「ようすをあらわすこと」を「びょうしゃ」といいます。

【補助資料5】

お名前

名前

)

この紙に、教科書の挿絵を写し、それをこの紙に貼ってください。

--	--	--	--



--	--	--	--

--	--	--	--

--	--	--	--

--	--	--	--

--	--	--	--

【補助資料6】

テレビアニメ  
キャラクター  
の絵を使用

友だちが じっくり考えた  
ひみつどうぐの はっぴょうだよ。

話したことに ○を つけながら  
きいたり, ききたいことに △をつけな  
がら きいてみよう。

お話をきくことが、一番、だいじ!

あったらいいな、こんなもの! (いつもおたすけカード)

名前 ( )

( ) さんは、  
どんなことを話しましたか。

【ようす】を「びょうしゃ」していたよ。

いろ 形 大きさ (長さ)

手ざわり 数 におい

【しくみ】【はたらき】を「せつめい」していたよ。

【ききたいこと】

( ) さんは、  
どんなことを話しましたか。

【ようす】を「びょうしゃ」していたよ。

いろ 形 大きさ (長さ)

手ざわり 数 におい

【しくみ】【はたらき】を「せつめい」していたよ。

【ききたいこと】